

犬も歩けば・・・

埼玉県立歴史と民俗の博物館 学習支援担当 二階堂 実

新年あけましておめでとうございます。

お正月は炬燵に入って「犬も歩けば棒に当たる～」などと、ご家族でかるたを楽しんだ方も多いのではないのでしょうか。

さて、今年は「戌年」ということで、役に立つかどうかはわかりませんが、知っているとちょっとだけ自慢できる「犬」に関するアレコレを紹介します。

少子高齢化が急速に進むわが国では、いまや子供の数よりも犬や猫などのペットの数の数の方が多いというデータがあります。ペットも家族同然ということで、子供の名前と同様にその名前もキラキラネーム花盛りといった様相です。名前だけ呼ばれると子供かペットか区別が付きません。

今年の大河ドラマの主演である西郷隆盛の愛犬の名が「つん」であることはよく知られるところですが、日本の歴史上の人物で、その愛犬の名前が判明している例がいくつもあります。

8世紀初期に成立した「播磨国風土記」には応神天皇が自分の獵犬である「麻奈志漏(まなしろ)」

の死を悼んで葬ったとの記述があり、日本史上最古の愛犬名といえます。おそらく白い犬で「真白」から「まなしろ」と命名されたようです。現在その場所は犬塚神社となっています。

飛鳥時代を代表するスーパースター聖徳太子。七人の話を同時に聞くことが出来たという超人的能力の持ち主ですが、その愛犬「雪丸」ともなると、その超犬ぶりも半端ではありません。なんと人の言葉をはなし、お経も唱えることが出来たといえます。臨終に際しては遺言まで残し、それにより奈良県王寺町の達磨寺に葬られ、太子の命によりその石像が建立されました。

平安時代になると「枕草子」に「中宮定子の愛犬「翁丸」が、一条天皇の愛猫に吠えかかったために宮中から追放されたことが、いとあわれ」と記されています。天皇は猫派、皇后は犬派だったために起こった悲劇といえるでしょう。

室町幕府3代将軍の足利義満は、金閣寺に代表される北山文化の創始者です。北山文化は禅宗の影響を色濃く受けますが、義満の2匹の愛犬の名が「有情」と「無情」です。さすが文化人将軍ともなると、愛犬の名も禅問答のようになんとなく哲学的な響きがあります。

さて、冒頭で紹介した「犬も歩けば棒に当たる」ですが、現在の解釈は「積極的に行動すると思いがけないチャンスに巡り合える」というポジティブなものですが、かつては真逆で「でしゃばり過ぎると思いがけない災難に遭う」というものでした。

お屠蘇気分調子に乗って浅学を披歴して、新年早々棒にぶつかる大変なのでこの辺で筆をおきたいと思います。

本年もどうぞよろしく申し上げます。

～犬の名も 連ねし賀状 届きけり～

今後のイベントスケジュール

*申込は『JUNO』に応募要項が掲載されてからお願いします。

ホームページ:<http://junosaitama.net/> ブログ:<http://hakutomobulog.at.webry.info/>

- 1月24日(水) 講演会「古代武蔵の『弓』」 <前号で紹介>
- 2月3日(土) 古道探索倶楽部(赤山街道 千住道その1) <今号で紹介>
- 2月9日(金) 見学会「早春の狭山丘陵歴史散歩」 <今号で紹介>
- 2月19日(月) お祭り研究クラブ(上岡観音(馬頭観音)の絵馬市) <今号で紹介>

講演会 『「武蔵国分寺の造営と北武蔵』』

2017/11/19に130名が参加

講演会「武蔵国分寺の造営と北武蔵」は盛会に開催されました。講師の須田勉先生(元国士舘大学教授)は1945年に埼玉県飯能市にお生まれになり、早稲田大学教育学部卒業後千葉県教育庁、同県市原市教育委員会、文化庁、国士舘大学教授、博士(文学、早稲田大学)と教育と運営、学会に多大に寄与され、定年退職後の現在も研究活動や膨大な著書や論文を著されたりと八面六臂の活躍をされています。この日の講演は、



仏教を中心とする古代国家構想の核心だった国分寺、近年の考古学による成果から、堂塔の配置が統一的なものではなく地域情勢の中で建設されたことを解明されたりと建立にいたる政治状況を辿り、諸国国分寺を解説されています。ご専門のテーマは「全国官寺制構想—国分寺の創建—国分寺の造営—称徳天皇と国分寺」と幅広く、今回は国分寺の造営が主な内容でした。博物館の庭も紅葉シーズンとなり、3ヶ月ぶりの講演会に多くの方々が足を運んでいただき、講演を楽しんでもらいました。また、須田勉先生から、友の会スタッフの心のこもった対応と、組織レベルが高いとの評価をいただきました。一方、友の会からは須田勉先生に対して、見学会募集で大変お世話になりました。今後も国分寺関係に興味がある方々の熱意で開催を期待したいものです。(上田彰一郎 記)

友の会からのお知らせ

新年度「会員更新」手続きのお願い

- ◎平成30年度(2018/04~2019/03)友の会の会員募集を開始いたしました。現会員の皆様には継続更新のお手続きの程よろしくお願いたします。
- ◎この会報に「振替払込用紙」を同封致しましたのでお近くのゆうちょ銀行にて年会費2千円をお振り込みください。新しい会員証は次回の会報に同封してお届けいたします。なお、土日に関く博物館ロビーの友の会受付、友の会主催講演会、見学会の受付にても承ります。新しい年度も友の会を通じて知的な博物館ライフをお楽しみください。

友の会の活動にご参加ください

- ◎友の会のすべての事業・運営は会員のボランティア活動で行われています。会報『JUNO』の製作や印刷、発送も会員が集まって毎月行っています。
- ◎簡単なことから事業(見学会、講演会、クラブ活動)の企画運営まで、あなたもぜひ、余暇時間を「友の会」のためにお割きください。土日の友の会の受付へ、お声かけください。

日本遺産のまち行田を歩く

友の会・まち歩き研究会 11月17日に開催

日本遺産(足袋文化)のまちである行田を足袋蔵を中心に歩きました。参加者は33名。行田市郷土博物館で行田市の文化財について学んだあと、近くの水城公園へ。ここは忍城の堀跡が唯一残っている場所で、随所に流れる湧水にかつての「浮かぶ城」の面影をしのぶことができます。ここで、昼食休憩。名物のゼリーフライも買ってきて賞味しました。次いで、忍城差間口で激戦のあとと伝えられる天満社とその前にある高源寺を訪問。古墳通りへ、ここから「足袋蔵めぐり」の始まりです。(略) 足袋蔵だけでなく城下町らしい古風な建物も多く見られ、思わぬ発見をしながらの散策が「まち歩き」の醍醐味です。(詳しくはブログで)



赤山街道・越谷道を歩く その3

友の会・古道探索倶楽部 11月25日に開催



東武線越谷駅に定刻9時30分に24名全員集合。赤山街道探索も第6弾に入った。今日は吉川道である。日光街道2番目の越谷宿を横切り元荒川沿いの越谷御殿跡、建長元年の板碑を見学し、往時の船運を彷彿させるような元荒川と用水の間の道を進む。(略) 元荒川が合流点で中川に変わる吉川橋を渡り、吉川道の到着点と云われる古刹延命寺を参詣する。次の芳川神社で宮司さんが吉川の歴史など熱く語られたことが印象的であった。吉川駅前での有名な金の鯰様を拝観する。(詳しくはブログで)

◆上岡観音(馬頭観音)の絵馬市(妙安寺)と周辺散策◆

2018(平成30)年2月19日 日本の祭り研究クラブ 第25回見学会のお知らせ(参加自由)

《期日》2月19日(月) 10時00分~15時00分:雨天決行

《集合》東武東上線「東松山駅」改札出口 10時00分(バス「10時10分熊谷駅行き」乗車「上岡」下車)

《費用》交通費(電車・バス代等) 保険代他100円 《持物等》飲物・昼食・カメラ・傘等(暖かい服装で!)

《概要》『妙安寺』の境内にある馬頭観音は関東の三大観音の一つで、例大祭には牛馬を描いた絵馬を売る市が立ちます。昔は農家の人たちで賑わいましたが、今では競馬場や乗馬クラブの関係者が多く訪れ、馬の観音として信仰を集めています。庶民の願望や感謝のしるしとして寺社に奉納される絵馬は民間信仰の広がりを伝える資料だけでなく、庶民の知恵を知るヒントを含んでいます。周辺散策は光福寺宝篋印塔(国指定重要文)、冑山古墳(県指定)・神社、根岸家長屋門など 《申込み》下記の連絡先までお願い致します。

《連絡先》元木孝 TEL: 0493-54-0401 (携帯 090-2259-1673) Eメール(qqqt9x8a9@cyber.ocn.ne.jp)

★ 次回予定:平成30年(2018年)4月15日(日)「久伊豆神社の除堀ササラ獅子見学」(久喜市菖蒲町)

◆第22回鎌倉街道を訪ねて 赤山街道 千住道 1◆

2018(平成30)年2月3日 「古道探索倶楽部」

《日時》2月3日(土) 9時30分~15時30分(予定)

《集合》埼玉高速鉄道 新井宿駅改札口周辺

《コース》新井宿駅 →赤山日枝神社→金剛寺→慈林寺 →赤井氷川神社→傑伝寺→普門寺
→昌福寺→見沼代親水公園駅

《参加費》*資料代等300円

《その他》少雨決行(悪天候時には、連絡します)。歩行距離は約9kmで、史跡巡りをいれると11km少々です。歩きやすい服装・靴でご参加ください。途中でコンビニが少ないので、お弁当と飲物は必ず事前に御用意願います。保険に加入しております。体調が悪くなった方は、倶楽部員まで連絡してください。

《問合せ先》前日まで犬走(いぬばしり) 048-756-5634 当日 小俣(おまた) 090-3436-9017

《参加申込み》1月26日(金)までに、普通ハガキに氏名・住所・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)を明記して 〒339-0058 さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道あて。

早春の狭山丘陵歴史散歩

地味にすごい！

午前の部

アケボノ象のいる博物館・狭山市立博物館

古代・中世「所沢は武蔵の銀座通りだった」を証明する・所沢市埋蔵文化財センター
太平記ゆかりの地・小手指ヶ原古戦場跡

福寿草咲く小さな遺跡の大きな成果・砂川遺跡（旧石器時代）

昼食会場 所沢市和ヶ原3 和亭「武」 04-2947-3856

失われたものへの憧憬！

午後の部

所沢市の西南部に位置する狭山湖は東京都の水道源として造られた人造湖です。

かつてこの地には往古から人が住み、桃源郷のような村々がありました。見学会午後の部はダム建設により消えてしまった村々の歴史と立ち退きによって故郷を去った人々の証が遺る山口地域の寺社を訪ねます。またこの地域には古代中世以来の由緒を持つ古社・古刹も多くそれらの幾つかも拝観致します。

現地解説は所沢市在住の郷土史家伊藤平八氏にお願いしています。

瑞岩寺—仏蔵院—勝光寺—中氷川神社（七社神社）—清照寺・天満天神社

—山口観音（金乗院）

大宮着18時00分予定

日時 平成30年2月9日(金) 雨天催行

集合時間 午前8時(時間厳守)

集合場所 JR大宮駅西口・大宮ソニックビル西側

参加費 7,000円(バス賃料・昼食・資料代等)

ご参加の申込は

★往復はがきに見学会名・住所・氏名・会員番号・ご連絡先（できれば携帯）を明記の上、〒330-0803さいたま市大宮区高鼻町4-219

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 宛 お送り下さい。

★締切：1月31日（水）必着 ★募集定員45名 先着順受付

★会員限定ですがご家族、友人は同伴参加できます。座席希望あれば明記の事
注意事項

★御朱印について 御朱印はそれぞれの寺社でいただけます。御朱印希望者は申込みの際に必ずその旨記載願います。（狭山三十三観音札所・武蔵野三十三観音札所・奥多摩新四国八十八ヶ所など）

見学会に関するお問い合わせと当日緊急連絡先 090-2404-9553 中村均